

第8回（平成24年3月期）番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成24年3月21日（水）17:00～18:00

2. 開催場所 会議室

3. 委員の出席状況

委員総数 7名

出席委員 7名 西修・正岡健二・萩尾利雄・木辻清子・山本幸男・為岡務・平川愛恵

放送事業者側出席者 平野由美子

4. 議題

番組審議

第8回審議番組：「耳をすませてリスニングトゥゲザー」（18分）

3月6日（火） 13:00～13:18 放送

制作：関西学院大学総合政策学部メディア情報学科山中速人研究室

FM わいわい

担当：関西学院大学3年 野村保奈美

毎週火曜日 12:00～13:25 放送「まちはイキイキきらめきタイム」（パーソナリティはFM わいわい 金千秋）の中の13:00からのコーナー番組。

関西学院大学総合政策学部メディア情報学科山中研究室のゼミ生は2年生からコミュニティメディアでの情報発信について学んでおり、その一環として学生自身が自分たちで企画、編集する番組制作をしている。

平成23年度の3年生が担当するテーマは「職人の話を聞く」。就職活動をする時期になる学生が職業、働くことにどういう思いを抱いているかということ踏まえたものである。放送当日に生放送で12時からの番組に参加するのも学びの一つになっており、自身の放送データをポッドキャストにアップするところまでを担当している。

5. 議事の概要

番組の基本コンセプトの説明後、審議を行う。

6. 審議内容

6-1. 出席者の審議

【山本幸男委員】

- ・ 何度も練習してしゃべっていて、一所懸命番組を作っているであろうことが伝わってきた。
- ・ インタビューの内容はよかった。

【木辻清子委員】

- ・ インタビューしているところは音量が不安定に感じた。
- ・ 学生は紙に書いたものを丁寧に読んでいたが話し方が硬く、職人さんの人間味溢れるしゃべり方との対比があり過ぎた。

【為岡務委員】

- ・ なぜ「置き薬」をテーマに選んだのかが最後に伝わってこなかった。話を聞いてその後どうしたいのかがまとめられていなかった。
- ・ 話を聞いている時に「えっ」「あっ」という声がよく入っていた。注意してほしい。
- ・ 音の技術的なことは仕方がないかと思う。

【萩尾利雄委員】

- ・ 雑音が混じっていて音も低く聴き取りにくかった。学生の質問より、答える職人さんの話の方が今回の番組では肝心なところだと思うが、その一番大事なところが不鮮明で聴き取りにくかった。

- ・ 学生の話し方は硬かった。ニュース原稿を読んでいるようだった。
- ・ テーマ設定が難しかったのではないか。

【平川愛恵委員】

- ・ 音は確かに聞き取りにくかった。
- ・ 発音など話し手としての技術的な指導がもっと必要ではないか。
- ・ 会話になっていなかった。話を聞き出す力が不足している。番組の最後にインタビューを聞いた後の感想を述べていたが内容にそぐわないように思われた。
- ・ コミュニケーションをとってインタビューしたという印象が感じられなかった。いろいろな声を拾っていくということに対する努力をもっとしてほしい。

【正岡健二委員】

- ・ 質問事項などは整理はされていた。
- ・ 番組としての構成ができていなかった。始めに聞き手は自分の得た情報、どんな内容かを説明しなければならないが、説明しすぎてはいけない。話し手にしゃべらせなければならない。先に自分の思いを伝えるのはいいが、まとめに相当することも始めに言ってしまうている。
- ・ インタビューをするときは相手の目を見て、メモを見ながらではなく自分の言葉で会話を引き出さなければならない。
- ・ ラジオ番組としてもっとリアルに表現する方法を学んでほしい。作文を読んでもらっても伝わらない。第三者、ラジオの場合はリスナーにものを伝えるということも学んでもらいたい。
- ・ コミュニティ放送局で放送する番組を制作することで社会参加していることをもっと認識してほしい。

【西修委員長】

- ・ ワンセンテンスがとても短く、棒読み聞こえた。
- ・ 全体の構成、番組のストーリーがよくわからなかった。タイトルと内容がそぐわないように感じた。
- ・ 話し手である職人さんの思いはよくわかったが、まとめをもっと工夫しないと伝わるものがない。なぜ、その人の話を聞こうと思ったのかを聞くことができたならもっとよかったと思う。
- ・ 授業として番組を制作するという試みは面白い。
- ・ 最近の学生は議論する習慣はあるのか？情報の取入れ方や、人とコミュニケーションすることをもっと学んでほしい。

【放送事業者側出席者：平野由美子】

- ・ しゃべりのテクニックなど具体的なことは指導していない。ラジオ番組を作ることは2年生の時点でわかっていることであるから、自分から進んでラジオを聴いて、上手い人のテクニックを真似たり、表現の仕方を学んでほしい。また、編集技術などわからないことは積極的に聞くべきである。

7. 審議機関の答申または改善意見に対して採った措置及びその年月日

- ・ 平成24年度の授業で制作者から担当学生等に連絡（平成24年4月中予定）

8. 審議機関の答申または意見を公表した場合における公表内容、方法、年月日

- ・ 公表内容…議事の内容
- ・ 公表方法…自社放送（平成24年3月31日12:00～13:55の番組内で放送予定）
事務所に議事録の備置き（平成24年3月26日）
ホームページに掲載 <http://www.tcc117.org/fmyy/index.php?cl=13-98>

9. その他参考事項

特になし